

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	情報と職業						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修科目(ネットワークコース)／選択科目(ソフトウェアコース)						
担当者	森 正壽						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報化社会における職業、職業倫理を含む職業観と勤労観などを説明できる。</li> <li>・ 各種情報処理技術者の職場における職務、役割などの概要を知っている。</li> <li>・ 官公庁や企業の職場において情報処理技術がどのように実現されているか、概略を説明できる。</li> <li>・ 急速なブロードバンドの普及に伴った、新しい情報ビジネスについて説明できる。</li> </ul>						
日程と内容	9月19日 9月26日 10月 3日 10月10日 10月17日 10月24日 10月31日 11月14日 11月18日 11月21日 12月 5日 12月12日 12月19日 1月 9日 1月23日	1. 概説・導入 2. 教科教職 3. 情報化社会 4. 職業指導 5. 労働法制 6. 行政の情報化 7. 事例①コンビニ 8. 起業家の実例 9. 事例②生産管理 10. 試験解説追加説明 11. 事例③インターネットビジネス 12. インターネットと日本企業 13. 情報資格 14. 演習:プロジェクト企画作成 15. 全体まとめ 期末試験					
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	20%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%		0%			
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	官公庁や企業を問わず今日においては、あらゆる職場に情報化技術が浸透している。専門の情報処理技術者はもちろんのことながら、学校教育で情報処理教育を十分に受けていない場合でも、コンピュータを使った各種職務が前提となっている。そこで「情報と職業」では、まず情報化社会の実態を理解し、現実の職場で日々行われている業務を知ることによって、情報と職業の関連を学び、職業観、勤労観及び、職業倫理の修得を目的とする。						
反省点	総合授業評価点は、8.3となっておりまずまずであるが、さらに理解度向上への工夫が必要となる。						
来年度の計画	本年と同様。						
授業評価アンケートに対するコメント	「情報化社会について自分なりに考えることができた」など記述があり、それなりの効果が反映されていることが分かる。						
履修登録者数	42名	定期試験 受験者数	35名	合格者数	25名	合格率	71%